



2020-2021 RIテーマ ロータリーは機会の扉を開く

天童東ロータリークラブ

クラブテーマ「今だからこそ 出会いを大切に 奉仕を楽しみ活動的に そして団結」

会長/ 齋藤 幸雄 ・ 幹事/ 佐藤 栄治

通常例会 1664回・本年度第3回 例会日 2020年7月15日 会場/天童ホテル

司会 / 金星 ソング / 奉仕の理想 タクト / 鞍掛 彰秀

会長挨拶 齋藤 幸雄 会長

皆さん、こんにちは。

ここ数日、朝昼晩と寒暖の差が激しいです。皆さんも風邪などひかないよう気を付けてください。

気象庁では今回7月3日より続いている豪雨を「令和2年7月豪雨」と命名しました。通常ですと、災害発生後に命名するのですが、現象継続中は初めてだそうです。少なくともあと3日間警戒が必要です。お互いに十分気を付けましょう。

本日のお客様をご紹介します。天童商工会議所事務局長 石塚昭広氏。後ほど「私の仕事」の演題で卓話をお願いしております。よろしくお願いいたします。

東京都では、9日より4日間200人を超え、その後2日間は100人を超え、ここ一週間で約1200人のコロナ感染者が出ております。県内でも13日男女2人のコロナ感染が確認されました。その内の1人が7月3日埼玉県内のバーに勤務、7月6日寒河江市内のスナックの手伝いのため天童市の実家に一時帰省、同店で数日勤務、嗅覚障害の症状が出たため、13日にコロナ感染症外来を受診し陽性が判明したそうです。スナックには1日5人～10人ほどの来店者がいたとのこと。濃厚接触者の特定は困難とする一方、同店ではマスク着用やアルコール消毒など感染防止対策を講じていたため、感染症対策担当者は感染拡大の可能性は高くないとの見解を示したそうですが、本日濃厚接触者の男性1名が陽性と確認されました。

もう一人は、自動車学校に来た東京からの合宿教習生、濃厚接触者は全員陰性とのこと。

天童でも感染者が出たということで今まで以上にコロナ感染には十分に気を付けてください。

皆さまに残念なお知らせがあります。会員であります 押野達男氏より7月10日に先月限りで退会したいとの連絡がありましたことをご報告いたします。



幹事報告 代理 小関 芳重 さん

1. 地区事務所より山形県内でも新たな新型コロナウイルス感染者が確認されたのでガバナー公式訪問の日程を変更したいクラブがございましたら遠慮なく申し出てください。との連絡が届いております。
2. 米山奨学会より普通寄付のお願いが届いております。
3. 当会員の押野達男様より6月末での退会の申し出がありました。



本日のメニュー

裏面に続く

スマイルソング委員会 委員長 鞍掛 彰秀 さん

7/29 の例会委員会のメンバー以外の方にも一言でも提案して頂きたい。



クラブ管理運営委員会 委員長 伊藤 則雄 さん

天童東 RC の名簿の編集をしております変更のある方は、届けをお願いします。

建勳神社 宮司 鎌倉 景昭 さん

創建 150 年記念事業のお願い。ご奉賛金 1 口 金 5 千円 (何口でも可能です) をお願いします。



スマイル報告 三瓶 誠 さん

- 石塚さん卓話楽しみにしています。斎藤(幸)・阿部・斎藤(栄)・伊藤(則)・赤塚・村山(光)・半澤・藤島・三瓶・倉掛・山口さん
- 本日都合により早退します。小関さん幹事報告宜しくお願いします。
- 先週の原稿なしスピーチ上手く纏めていただき会報委員会に感謝します。新聞 彌一郎さん
- 建勳神社もおかげ様で創建150周年を迎えます。ご支援ご協力をお願いします。鎌倉景昭さん



【(株)大黒屋 社長 佐藤 英伸 さんの 3 分間スピーチ】

熊本県人吉市の深野酒造(株)からアルコール分 77 度の焼酎を飲用でなく消毒用で仕入れることにしました。酒税が免除され 1,600 円から 1,100 円になり手ごろな値段になりました。是非ともコロナ対策としてご利用ください。



【高橋整形外科 理事長 高橋 繁夫 さんの 2 分間スピーチ】

ポールハリスについてお話します。家庭が貧しく、よくケンカをしていたようです。勉強をさせようと 1885 年バーモント大学に入学したが暴力沙汰で数ヶ月で退学になり、このままではまずいということで勉強し、名門大学のプリンストン大学に入学したがまたも 18 ヶ月で退学になりました。時間が来ましたので、続きは次回にします。



会報・記録委員会 委員長 加藤 幸男 さん

卓話者の選考に当たり赤塚プログラム委員長にお世話を頂きました。早速ですが、天童商工会議所の事務局長・石塚昭宏さんを紹介します。

今日は「私の仕事」と題してこれまでの経験を生かし、事務局長としての抱負を伺います。宜しくお願いします。

【天童商工会議所 事務局長 石塚 昭宏 さんの卓話】

演題「私の仕事」

この 4 月より、天童商工会議所にお世話になっております、石塚 昭宏と申します。

最初に、簡単に自己紹介をさせていただきます。昨年の 3 月まで、山形銀行天童支店に勤務しておりましたので、ご存じの方もいらっしゃると思います。出身は上山市です。



昭和 62 年に大学卒業後、山形銀行に就職しました。上山支店を皮切りに、立谷川支店、酒田支店等支店勤務後、本店営業統括部・本店第二部等を経て長岡支店・上山支店・天童支店の 3 店舗の支店長を務めさせて頂きました。人事部詰出向で大和ハウス工業営業推進部に 1 年間在籍し、現在に至っております。

趣味はマラソンです。マラソンは長岡支店勤務時代 47 歳の時、同僚に無理やり誘われて、東根さくらんぼマラソン 10 キロに出場したのがきっかけで、以後病みつきになり現在に至っております。平成 27 年には、10 倍を超える抽選に偶然当たってしまい、東京マラソンに出場しました。平成 31 年にまた抽選に当たり、2 度目となる東京マラソンに出場しました。平成 31 年は、寒さのあまりオリンピック代表の大迫が走り出して間もなく棄権をした大会です。寒さに耐え忍ぶという点では、大迫に勝利したと思っております。

本日の演題「私の仕事」は、実のことを申しますと、赤塚社長と電話で会話する中で、赤塚社長が決めてくださったものです。最初は、軽く考えておりました。ところが、7 月 15 日が刻々と迫ってきます。

人前でお話しするためには、自分のこれまでの人生や仕事を振り返ったり、本を読んで勉強しなければなりません。きっと、赤塚社長は私に勉強する機会を与えてくれたのだと前向きに考えるようになりました。

銀行員生活 32 年の内、支店長として約 1/4 にあたる 8 年半勤務させていただきました。最初は、13 名の小さな支店、その次は 24 名の中規模支店、最後は 37 名の天童支店、天童以北を統括する母店です。小さなお店は、支店長が率先垂範で支店をリードすればなんとかなります。ところが、30 名を超えてくると自分 1 人の目が届く範囲を超えてきます。そのため、組織をマネジメントする力を要求されることになるわけです。

今から、ちょうど 10 年近く前、支店長職につく直前の時期に、元上司の木村常務(現在、ヤマザワ勤務)から一冊の本を読んでおくようにと、本を渡されました。それが、佐藤一斎が書いた、「人の上に立つ人」の勉強という本の、言志四録の中に書いてある一節でした。

佐藤一斎は、江戸後期の儒学者 門下に佐久間象山らがあり、孫弟子に勝海舟、坂本龍馬、吉田松陰らがあります。

200 年前近く前に、書き下ろされた「重職心得箇条」は指導者の間で必読の書とされております。その心得から抜粋して紹介します。

第 2 条 自分の好みで部下を使うな

部下を「気持ちよく働かせる」ことが、人の上に立つ人の第一の仕事。どうでもいいミスを見とがめて人材を潰してはならない。自分好みの者ばかり採用するのは、水に水を注ぎ足すようなもので、味もそっけもない人事となる。組織は決して活性化しない。

第 4 条 前例 慣習にこだわるな

自分の頭と目でろ過したものだけを信じろ。

慣習の先例であっても、良いものはそのまま残し、御時世に合わないものはこだわりなく改めよ。

第 7 条 「嫌なこと」はやらせるな

無理強い、押し付けで部下は動かない。責任ある立場にある者は、人々が満足して自分に従ってくれるように、心配りをしなければならない。人の欠点を細かく厳しくチェックすることを威厳と勘違いしているものは、小人物の病である。

第8条 「忙しい」は恥としれ

気持ちにゆとりがない時は、重要案件に取り組むな。また、「忙しい」のは瑣事(さじ)に首を突っ込んで、担当部署の部下たちに仕事を任せないからである。任せてもらえないと、部下は益々仕事をしなくなり、上司は益々忙しくなる。

第9条 「信賞必罰」は自分でやれ

仕事には、人任せにできない絶対自分の仕事がある。このルールを破ると、組織に示しがつかなくなる。

第12条 「人の異見」に耳を傾ける

要は、何が最善かだけである。朝令暮改、朝礼朝改も恥ではない

※大和ハウス工業への出向で学んだこと

この時、私の心の支えになった言葉が、「与えられた環境を大切にする」前鶴岡市長の冨塚陽一氏の言葉です。出向した時は、色々な感情が自分の中でうごめきます。「なんで俺だけ、よりによって」とかです。

きっと、「自分がこの環境に置かれているのも、長い人生の中で、勉強しなさいと言われているのに違いない。まさに、与えられた環境を大切にする」です。そして、今、置かれている状況は辛いし、受け入れ難いけど、先ずは目先の仕事に誠心誠意取り組んでみようと思いました。

不動産や建築に関する仕事は面白いのですが、毎月毎月の会議で「スママセン」を繰り返す人生で終わって良いのかと、疑問を持ちはじめておりました。最初から、ちょうど1年で出向見直しの契約であったこともあり、銀行に戻らせていただく事になり、天童支店勤務時代の方から、ご縁をいただき、今年の4月から天童商工会議所にお世話になっております

※天童商工会議所での仕事

私たちが生活している中で、いろいろな問題が山積しています。そのうちの一つが人口減少問題です。山形県の人口は、毎年1万人ずつ減少してきています。これからの6年間で天童市に相当するようなひとつの都市が山形県から消えてしまいます。当然、地元で事業に従事される企業の経営も厳しさを増してきます。

平成26年に制定された「小規模企業振興基本法」によって、これまでの記帳代行や税務申告支援等から経営計画策定支援、新規起業支援、地元小規模・中小企業の販路開拓、事業承継支援等にシフトしていかなければならないとされております。従いまして、商工会議所の職員が勉強して、レベルアップしていかなければならないと考えております。

今後とも、商工会議所は会員の皆さんに寄り添って、共に歩んでいきたいと思っております。これからもよろしくお願ひします。

副会長 伊藤 則雄 さんの挨拶

卓話者石塚事務局長に対する謝礼



出席委員長 緑 英樹 さん

本日会員52名 出席者42名:主席率93.33% (義務出席者 45名)
前々回出席率を100%に訂正します。